

★ ★ JRKU  
★ ★  
2023年 第937号  
9月7日

# JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21  
GS/ハイム博多805号  
TEL 092-415-4377 FAX4399  
発行人 縫 和彦  
編集人 田 中 勇

## 赤字路線を公表するJR九州 その先の狙いは何処にあるのか！？

9月6日JR九州会社は、在来線全21路線59区間のうち、1キロ当たりの1日平均利用者数が2千人未満だった14路線20区間（2022年度）が赤字であることを公表した。赤字総額は約60億円としています。

一方で47区間については、利用者が増加していることも明かにしました。JR九州は「公表を通じて、苦しい収支の状況を対象地域の自治体や住民と共有したい」「交通ネットワークを持続可能な物とするため、取り組みを進めていかなければならないと」コメントを出しています。

JR九州は7線区で自治体と共に「検討会」を立ち上げ、路線維持のため意見交換をしていますが、その先には「再構築協議会」（鉄道を維持するかバス転換にするか）を狙いにしていることは間違いありません。古宮社長は「ローカル線を先々どうするか、議論しないといけません。われわれとしては大きな経営上の課題になっている」と述べています。自治体からも廃線に対して、警戒も予想されています。先の「中四国サミット」の国への要望として、「ローカル鉄道を路線単位で縮小均衡させるという論議ではなく、JRのあり方そのものに立ち返って、国民共通の社会基盤である全国の鉄道網をどうするのかという大きな視点で議論し、国の交通政策の根幹としての方向性を示すこと」を出されています。

JR九州は、JR鹿児島・JR熊本・JR筑豊ではありません。コロナ禍があげ利用者も回復しつつあります。赤字路線を補うため、株式上場や関連企業の拡大であります。「公共交通の維持」を原点に立ち、減便や減車ではなく利用者の立場となるようなダイヤ改正を求めていきます。

### 「公共交通」を守ろう！

